「全てが繋がり融合する時代のサステナビリティ経営の在り方を考える」専門委員会

自然環境や社会課題に対するグローバルでの危機意識の高まりを背景に、企業経営においても、サステナビリティを軸に経済性と社会性を両輪で追求する経営の在り方（「サステナビリティ経営」）が模索されている。サステナビリティ経営は、社会課題の解決に資する事業活動により「持続可能な社会の実現に貢献」（社会価値）しつつ、十分な付加価値や利益を生み出すことで「社会から必要とされ続ける」（経済価値）企業活動であるが、その実践には、科学技術や AI、IoT 等のテクノロジー活用を通じたイノベーションが大きな推進力となる。他方で、イノベーションをもっても、単独のサービスや個別の企業の取組みのみでは、社会に大きなインパクトを与えることは難しい。産・官・学の知見やリソースを共有し、Society5.0 が目指すサイバー空間とフィジカル空間の融合を通じたきめ細かなサービスの実現や、業態・業界を横断した研究や課題への取組みが求められる。こうした取組みを推進する上では、情報やモノ、ヒトの融合、連携を促進する新たな技術開発に加え、法規制・商慣習等のルールの見直し、尤も、企業が新たな切り口・視点をもって事業の舵取りを行うことが期待される。

本専門委員会では、サステナブルな社会の実現に向けた、新たな技術、ルール等の在り方の研究、及び、企業におけるサステナビリティ経営の在り方を幅広く考えていきたい。

１．名称

「全てが繋がり融合する時代のサステナビリティ経営の在り方を考える」専門委員会

２．活動目的・内容

SDGs/ESG をめぐる潮流や消費者の変化等を背景に、企業にはサステナブルな価値の提供を通じた事業の成長（サステナビリティ経営）が期待される。企業がサステナビリティ経営を実践し、社会にインパクトを与えるには、①企業自身の経営の在り方の変革に加え、企業によるサステナブルな価値創出を促進する土壌の形成、すなわち、②企業と行政、研究機関、NPO など様々な組織やヒトが連携・協調するための枠組みやエコシステムの構築、及び、Society5.0 のコンセプトにある、③様々なものやサービス、データの繋がり・融合を促進するための技術や制度を開発・運用するアプローチが考えられる。サステナビリティ社会の実現には上記取り組みの複合的な成果として成し遂げられるものであり、これらに関連するイノベーション創出や制度・ルールの在り方、企業経営における応用手法等について討議や検討を行う。なお、討議・検討内容や成果のうち提言すべき事項については、政策委員会と連携し JATES 提言として取りまとめていく。

３．活動期間

2023 年 4 月～2024 年 9 月

４．委員会の構成

委員長：　藤原　遠　氏（㈱NTT データグループ　顧問）

幹　事　：　中川　裕章　氏（鹿島建設㈱ 技術研究所　所次長）
菅　真紀子　氏（ソニーグループ㈱　R&D センター　Tokyo Laboratory23　統括部長）
田中　秀彦　氏（㈱NTT データグループ　執行役員　技術革新統括本部長）
大野　博堂　氏（㈱NTT データ経営研究所　パートナー・金融政策コンサルティングユニット長）

アドバイザ：　磯貝　友紀　氏（PwC サステナビリティ合同会社　リード・パートナー）
越塚　登　氏（東京大学大学院　情報学環・学際情報学府　教授）
西口　尚宏　氏（（一社）GEN Japan　代表理事）

メンバー：　技経会会員を中心に当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける会員企業等

5．活動計画

（1）具体的な範囲や進め方は別途計画を作成（現時点の計画案は別紙参照）
（2）報告書取りまとめと（必要な場合）政策提言

6．メンバー選定について

（1）技経会会員で当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける会員企業、かつ具体的な活動計画に適した方に参加を要請する。
（2）技経会会員以外の企業であっても、委員長が認めた場合は、当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける企業、かつ具体的な活動計画に適した方に参加を要請する。

7．参加費用

技経会会員企業　：　無料
但し、技経会会員以外の企業でも、委員長が認めた場合は、参加費 20 万円（通期）で参加できる。

【別紙】

活動計画（案）

2023 年 4 月から 2024 年 9 月にかけて、活動を下記の 3 フェーズに分け、各フェーズに適したテーマについて、概ね月 1 回のペースで講演会および見学会を実施する。サステナビリティに関する環境変化、政策動向を俯瞰した上で、技術・制度的な論点や企業経営における課題を明確にし、企業とその技術が果たすべき役割を示すことによって、参加企業間の議論を促進する。

各フェーズの目的と考え方

フェーズ 1：サステナビリティ経営、人・モノ・データの繋がり・融合等に関連する環境変化や政府動向の調査

フェーズ 2：フェーズ 1 で調査した動向等を踏まえ、企業のサステナビリティ経営を促進するための技術、制度・ルール、投資等の在り方の整理

フェーズ 3：不足点の充足、及び、サステナビリティ経営、サステナビリティ社会の実現に向けた議論、提言のとりまとめ

フェーズ 1（2023 年 4 月～9 月）

第 1 回 2023 年 4 月 13 日（講演）

内容　：　企業に求められる中長期的な企業価値向上に向けた「サステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)」（「伊藤レポート 3.0」、「価値協創ガイダンス 2.0」のご紹介）

演題　：　世界のサステナビリティ経営で何が起こっているのか？

講師　：　西口　尚宏　氏（（一社）日本防災プラットフォーム　代表理事）

第 2 回 2023 年 6 月 27 日（講演）

内容　：　組織連携、データ融合（Society5.0）を支えるデジタルトラストの基盤やセキュリティの在り方について考える

演題　：　我が国における安全保障から社会保障まで支えるトラストサービス

講師　：　手塚　悟　氏（慶應義塾大学環境情報学部　教授）

第 3 回 2023 年 7 月 26 日（講演）

内容　：　経営論としての SX を取り上げ、企業価値の向上のために SX に取組むべき理由を経営学的な側面から理解する

演題　：　戦略としての ESG：責務を超えて持続的競争優位へつなげる戦略

講師　：　岡田　正大　氏（慶應義塾大学大学院　経営管理研究科　教授）

第４回 2023 年８月２５日（講演）

内容　：企業の SX を促進する仕組みや基盤を整備する取組みとして、Society5.0 に関連する政策動向や、企業、自治体における取組みを把握する

演題　：デジタルを活用した持続可能なまちづくり ～国土縮図型都市・浜松の挑戦～

講師　：瀧本 陽一 氏（浜松市 デジタルスマートシティ推進事業本部）

フェーズ２（2023 年 11 月～2024 年５月）

第５回 2023 年 11 月２日（講演）

演題　：ソニーのサステナビリティ経営

講師　：シッピー 光 氏（ソニーグループ㈱ サステナビリティ推進部 シニアゼネラルマネジャー）

第６回 2023 年 11 月 29 日（講演）

演題　：明電グループのサステナビリティ経営

講師　：池森 啓雄 氏（㈱明電舎 常務執行役員 サステナビリティ推進部 担当役員）

第７回 2024 年２月１日（講演）

演題　：エネルギーマネジメント領域から見た Carbon Neutrality 領域の国際標準化
～横河電機の取り組みと次期開発アイテムに対する国際での検討状況

講師　：池山 智之 氏（横河電機㈱ マーケティング本部 渉外・標準化戦略センター）
岡田 晋午 氏（横河電機㈱ マテリアル事業本部 ビジネスプランニングセンター長）

第８回 2024 年２月 15 日（講演）

演題　：エーザイの価値創造ストーリー ～社会的インパクト指標創出とエンゲージメント～

講師　：南田 泰子 氏（エーザイ株式会社 サステナビリティ部 部長）

第９回 2023 年３月 22 日（講演）

演題　：BASF の CFP 算定手法の業界標準化に見る、
社会課題解決と事業成長のシナジーを可能にするサステナビリティ経営戦略

講師　：矢野 健人 氏（BASF ジャパン㈱ サステナビリティ推進部 マネージャー）

第 10 回 2024 年５月 10 日（講演）

演題　：2050 ネット・ゼロ・カーボンを目指して 王子ホールディングスの取組

講師　：千葉 基 氏（王子ホールディングス㈱ サステナビリティ推進本部 本部長）

フェーズ３（2024 年５月～2024 年９月）

第 11 回 2024 年 5 月 24 日（講演）

演題　　：投資家からみたサステナビリティ経営の課題
　　―― Moving from Commitments to Action ――

講師　　：木村 武 氏（日本生命保険 執行役員 / PRI 理事）

第 12 回 2024 年 6 月 4 日（講演）

演題　　：（調整中）

講師　　：平本 健二 氏（IPA デジタル基盤センター長）
　　延川 裕樹 氏（㈱日本データ取引所 COO）

第 13 回 2024 年 6 月 27 日（講演）

演題　　：（調整中）

講師　　：Nevena Mateeva 氏（駐日欧州連合代表部）

その他

当専門委員会活動をきっかけとして、関係各所からの意見提起等を求められた場合や、提言の機会が訪れた場合は、各フェーズの進捗状況に関わらず、幹事会社を中心に可能な範囲で対応することとしたい。